

～おすすめ歴史スポット～

椿になった桃



鮎川海水浴場で海開きをしている様子。

むかしむかし、鮎川の御嶽山のあたりには桃の木があったそうです。ある年のこと、どこかから一人の旅の坊さんが、御嶽山の山道を、ひよろひよろと登って来ました。坊さんは、「のどがからからや。どうか一つ、その桃をわけてくださらんかの」と少しはなれたところで、言いました。ほしたら、「どこの馬の骨かわかんもんに、一つでもやれるかいの。これは、桃じゃのうて、椿の実じゃ」と婆さんは言ったそうです。それで坊さんは、だまって山をおりて行きました。次の日、村じゅうが大さわぎになりました。山の中の桃の木が全部椿の木にかわってしまいました。それから、もう御嶽山の見えるところでは、桃はとれないようになったそうです。

今でも鮎川海水浴場の海開きでは桃が巻かれているそうです。



神の守護がある国見神社



国見神社は1250年前に建てられました。この中には、大目霊神尊（おおひめのみこと）という神の体の腕が大切に保存されています。昔、盗賊がその神の腕を切り落とし、盗もうとしました。しかしその盗賊は一晚中、神社の周りをぐるぐると走り続けただけで、その場から逃げることができませんでした。結局、切り取った腕をその場に置き、逃げていってしまったそうです。

大きな門がある森本家



正面から写真撮ると、いいですよ。



場所 国見町

説明 平きよりの弟、平つねもりがげんじに負けた後、逃げて来たのが国見町でした。その子孫の家が森本家と言われています。おすすめは、大きい門です。

村人を助けた神がつけた足跡



昔、水不足で春日神社に集まって「あまごい」をしました。すると次の日の朝、田んぼには水が大量で畑の作物はきれいに育ち、小川にも水がいろんな場所にあるのです。神社の裏に大きな足跡がついていました。神様が海から水おくり上げてくれた時の足跡だと言われています。見どころは、とても大きいところです。

白浜町 「船祝い」



！注目ポイント！

- ・もちがまかれるごうかいさ
- ・人の多さ

船祝いは、約400年前に多くの魚が取れるのを願う漁師が船のまわりに集まる人々を魚と見立て、もちをえさとしてまく行事で、毎年1月2日に白浜漁港で行なっています。

大丹生町 「奴行列」



今から二百数十年、越前のとの様が越前海岸防衛のためこの地に来た。そのとき、との様行列を見ならい、大丹生町の若者が「奴」の姿でかごをかついで、4Km先の一光川で出むかえたのが始まりだとされている。

船の絵馬がたくさん！加茂廻神社



見どころポイント 船絵馬

鮎川町にある加茂廻神社は、船員の守護神として有名です。船員が海上で大嵐にあい、生命の危険があったとき、神鳥が助けてくれたという言い伝えがあります。神社には、船が描かれた絵馬が数百枚かざられています。たくさんの絵馬を見ると、とても迫力があってきれいです。日本でも、船絵馬がある神社は少ないので、来てください。

美しい風景が見られる春日神社



上から見渡した海の風景は美しいので、写真を撮るのにおすすめの場所です！

小丹生町

春日神社には、勉強の神様、病気の神様、子供の神様、物願いの神様がまつられているそうです。国見にある春日神社の広さは17000mあります。上から見下ろして見える海と山の風景は、とてもきれいです。ぜひ来て、この風景を見てみてください。

国見地区歴史パンフレット

～地区の成り立ちについて～

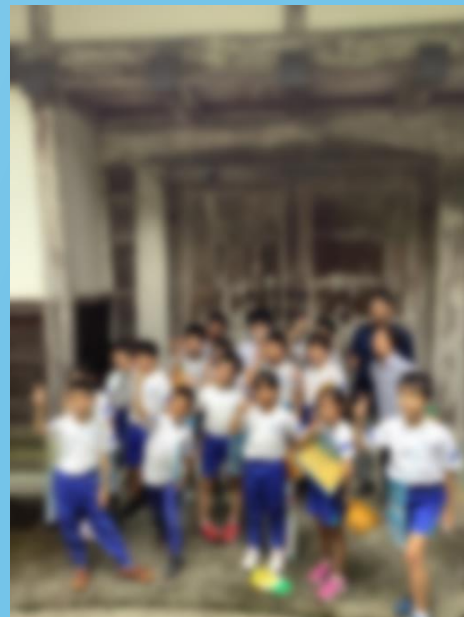


国見の成り立ち



国見町の歴史は、約830年前、加賀の國「俱利伽羅峠の決戦」に敗れた平家軍の重臣一行が、この国見町に隠れ住んだのが集落の始まりです。
 厳しい源氏を恐れ、特に鮎川浦の人々の協力で安住の地を得て、平和な歳月を送り今日に至っています。

おすすめスポット
国見神社



小丹生の成り立ち

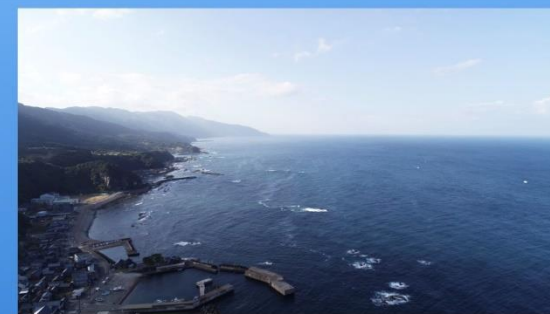


おすすめスポット
春日神社

小丹生町は、古くからの言い伝えの多い土地で、逸話があります。古くからかいせんぎょうとのかかわりがあり、近年に至っても世界をめぐる海運業の従事者が多く、町内の春日神社には海上安全を祈る多くの絵馬がかざられています。



鮎川の成り立ち



鮎川町は、古代より海運業が盛んで、江戸から明治期には、「北前船」の船主や乗務員がいっぱいいて、沿岸地区との交易が盛んであったといわれています。鮎川町にある「加茂神社」には、当時の海運安全祈願の絵馬がたくさん奉納されています。

おすすめスポット
かもの神社

大丹生の成り立ち



おすすめスポット
五太子の滝

大丹生町に関する文献や伝承には、平安中期 源満仲が越前の守となって来国、大丹生浦に閑居し「八幡神社」を寄進したと伝承されています。

白浜の成り立ち



おすすめの行事舟祭り

白浜町は約400年前、島根県や鳥取県を支配した大名尼子氏が毛利氏に滅ぼされた後、その一族がすみ小丹生町 塩ヶ浜から白浜町に住みしました。漁業を中心とした白浜町民は信仰心篤く、神社・寺院を大切にしています。

